

花矢図書館だより

10
2019



大館市立花矢図書館
TEL・FAX
0186(46)1557
火～金：9:00～19:00
土・日：9:00～17:00

【一般書】

知ってはいけない！日本の「黒幕」図鑑
なぜ共働きも専業主婦もしんどいのか (中野 円佳)
気づけない毒親 (高橋 リエ)
新しい腸の教科書 (江田 証)
マンガでわかるパニック症・広場恐怖症 (貝谷 久宣)
樋口愉美子の動物刺繍 (樋口 愉美子)
サバ缶&イワシ缶5分でうまい！やみつきレシピ
遺体と火葬のほんとうの話 (佐藤 信顕)
一生分の教養が身につく！大人の語彙力強化ノート
君たちは今が世界(すべて) (朝比奈 あすか)
アロワナを愛した容疑者 (大倉 崇裕)
クジラアタマの王様 (伊坂 幸太郎)

カリスマvs.溝鼠 (新堂 冬樹)
坂口安吾エンタメコレクションハードボイルド篇
旧友再会 (重松 清)
希望の糸 (東野 圭吾)
女優の娘 (吉川 トリコ)
他

【児童書】

立入禁止 フォア文庫 (中村 まさみ)
絶叫学級 むきだしの願望編 (いしかわ えみ)
トイ・ストーリー イッキ読み3話
きょうふのしりとり ほるぷ創作絵本 (武田 美穂)
そうだソーダ (丸山 誠司)
チョコちゃんに叱られる [2] ごちそうさまってなに？
ほか

◆今月のおすすめ図書◆

『とむらい屋颯太』梶 よう子

「弔いを出して飯を食う。それがあっしの生業」

新鳥越町二丁目の「とむらい屋」には弔いの段取りをする颯太、棺桶づくり職人の勝蔵に正平、雑用の寛次郎そして死者に化粧を施すおちえ、そして坊主の道俊が居候をしている。人の死なない日はない。毎日、どこかで誰かがあの世に行っている。これは江戸にあった小さな葬儀屋の奮闘物語。

『きょうは泣き虫』たけがみ たえ

クワガタは、月の光をひとりじめしたくて、みんなに意地悪して大威張り。ところがある日、カブトムシに相撲で投げ飛ばされすっかり弱虫に。何日も一人ぼっちで過ごしていましたが、満月の夜みんなが楽しそうに遊んでいるのを見て泣き出してしまい…。

子供同士でもよくある様子を大人気の虫たちを沢山登場させて表情豊かに描いています。

◆読書感想画展示会◆

日時：10月26日(金)午後1時～5時
10月27日(土)午前9時～午後3時



場所：花岡公民館

花岡保育所の園児及び花岡なかよしキラキラクラブの児童有志による「読書感想画展」を開催します。子供達の感性あふれる作品を是非ご覧下さい。

◆雑誌プレゼント◆

10月25日～11月8日まで保存期間を過ぎた古本、古雑誌をプレゼントします。(花矢図書館)



◆今月のテーマ展示◆

大人向け『図書館員のおすすめ本』

子ども向け『むか～し、むかしのおはなし』



◆ミステリー記念日◆

10月7日はミステリー記念日です。1849年10月7日に推理小説の先駆者といわれるエドガー・アラン・ポーが亡くなったことに由来しています。世界初の推理小説『モルグ街の殺人』のオーギュスト・デュパンが推理小説史上初の名探偵といわれています。最も有名な名探偵はコナン・ドイルの推理小説に登場する「シャーロック・ホームズ」ではないでしょうか。



日本でいえば「金田一耕助」や「明智小五郎」といったところでしょうか。

名探偵「明智小五郎」を生み出した「江戸川乱歩」もエドガー・アラン・ポーの名をもじってつけた名前といわれています。

「ミステリーの女王」といえばアガサ・クリスティの『そして誰もいなくなった』が有名ですね。日本でいえば山村美紗が日本のアガサ・クリスティとも讃えられました。『そして誰もいなくなった』のオマージュ作品で有名な綾辻行人の『十角館の殺人』。「館シリーズ」もお勧めです。秋の夜長、ミステリーワールドにどっぷりと浸ってみませんか。

◆おはなし会◆

日時 10月16日(水)
10:30～11:00
場所 花矢図書館 児童室

